

広報番組で旬の逸品を紹介

杉並区がケーブルテレビや公式ホームページで配信を行っている広報番組で、区の交流自治体の海産物や特産品など旬の逸品の紹介を始めました。第一弾は、静岡県南伊豆町のスルメイカです。

これまでも、区の交流自治体では、区内のイベント会場での物販や子どもたちの相互交流事業を積み重ね、連携を図ってきましたが、今回、その交流をさらに深めていくための試みとして、交流自治体の自慢の農産物や海産物を、区が製作する広報番組で紹介する取り組みをスタートさせることになりました。

このことは、交流自治体にとっては55万の人口を持つ杉並区を対象とする販路の確保につながり、また、区民にとっても杉並区民限定で希少な商品をより安く手に入れることができる、お互いにとってメリットがある取り組みです。



7月26日から、ケーブルテレビや区ホームページで紹介が始まったのが、静岡県南伊豆町の石廊崎沖で漁獲される知る人ぞ知るスルメイカ。真夏に身の厚みを増し、甘くて美味しいと評判の商品です。その「石廊イカ」を船上で丁寧に加工した沖漬けと船上干し、さらにお刺身に最高な生イカ3パイをセットにした商品をお届けすることにしました。放送（配信）初日から、7件の注文や問い合わせがあり、好調なスタートとなっています。ただ、南伊豆沖は台風12号の影響で漁に出られない状況で、波が収まればすぐに注文に対応していきたいと漁協関係者は話していました。区では、今後も季節毎に旬を迎える交流自治体の逸品を紹介していく予定です。

また、現在、まち・ひと・しごと創生法に基づき策定中の「杉並版総合戦略」の中でも、杉並と地方が共に輝くWIN-WINの取り組みの推進を目指し、国内の交流自治体とのより積極的な連携を図るための具体策を盛り込むことを検討中です。